

田村市新病院・厨房施設建設基本設計業務

基本設計概要書

令和4年3月



計画説明書

(1) 基本理念

- 1) 地域住民が住みなれた場所で、安心した生活が送れるよう親しまれる病院・厨房施設を目指す。
- 2) 地域ぐるみで子育てを支援する病院・厨房施設を目指す。
- 3) 子どもから高齢者まですべての市民の健康づくりを支援する病院・厨房施設を目指す。

(2) 基本方針（新病院）

- 1) 地域に根差した医療提供をする病院
地域医療の発展充実に寄与するため、地域連携を積極的に推進する。
- 2) 子育てを支援する病院
「医療」と「子育て」の連携を行い、地域で安心して子育てができるように整備する。
- 3) 健康サポートの充実した病院
地域の健康づくりに向けた「医療」、「保健」、「福祉」からなる地域支援が充実した病院を目指す。
- 4) 安心して利用できる病院
外来患者・入院患者が快適に利用でき、プライバシーの保護及びインフォームドコンセントの徹底を図り、安心と満足を提供する。
- 5) 安全性・機能性の高い病院
地震・風水害などの災害に強い施設として、患者の安全確保を目指し、誰もが使いやすいユニバーサルデザインに配慮した施設整備を行う。
- 6) 将来の変化に対応する病院
将来の医療環境の変化に伴う医療機能の高度化や求められる医療ニーズの変化による施設拡充など様々な機能の見直しが可能となる病院として整備する。
- 7) 安定した経営を行う病院
ライフサイクルコストに配慮し、効率的な運用により、将来の地域医療を支え続けられる持続可能な病院を目指す。
- 8) 医療スタッフの能力を発揮できる病院
医療スタッフにとって、魅力ある病院、働きやすい病院を目指し、医療スタッフの能力を十分に発揮すると共に、医療スタッフの業務効率の向上に配慮した環境を整備する。

(3) 基本方針（厨房施設）

- 1) 現在（いま）と未来を繋ぐ、食育の発信拠点に
 - ・新病院及び認可保育所の給食をはじめ、健康な食事を市民等に広く提供できるシステムを目指す。
 - ・外から調理の様子が眺められるオープンキッチンスペースから、食事や調理の工程に対する興味を喚起し、大人から子どもまで、「おいしさ」だけでなく「安心感」「楽しさ」「繋がり」も提供する施設とする。
 - ・食にかかわる様々な役割を果たすことができ、市民や地域との交流・繋がりを生み出す食育の発信拠点とする

2) 全ては食育のために

- ・様々な状況・用途に対応できる多機能かつ省エネルギーな厨房システムを整備する。また、災害時であっても最低限の食事を提供できるような機器を選定する。
- ・調理の省力化を図るために簡単なオペレーションで高い調理能力を可能にするシステムを構築し、スタッフが食と向き合う時間を増やす。
- ・「大量調理衛生施設衛生管理マニュアル」や HACCP の基本概念に対応した施設とし、無駄のない同線計画と事故防止につながるゾーニングを実現する。衛生作業区域・汚染作業区域・準衛生区域を明確に区分し、食材の入荷から食事の提供まで一方通行とすることで二次汚染を防止し、食材と人の交差汚染を防ぐ。
- ・作業性が高く輻射熱が少ない機器を選定して火傷や怪我等のリスクを抑えたり、背が高い機器のレイアウトを工夫して見通しの良い作業空間をつくるなど、安全・安心で働きやすい環境を整備する。

(4) 設計理念

- 1) 地域の中核的医療機能を果たし、将来にわたり地域の医療・介護連携を可能とする病院とする。
- 2) 医療サービスを市民はもとより、すべての病院利用者が必要に応じていつでも安心して受けられ、また機能的でかつ景観及び環境に配慮した施設とする。
- 3) 機器等の選定・整備及び将来の機器更新が行いやすい施設とする。

(5) 設計条件

- 1) 同一敷地内に整備される認可保育所（既存施設）との一体的運用部分を考慮した敷地利用とする。
- 2) 地形・地質・気象等の自然的条件による災害の防止を図り、かつ環境保全に配慮する。
- 3) 都市計画その他法律に基づく土地利用に関する計画との整合を図り、良好な市街地環境等の形成に配慮した計画とする。
- 4) 将来需要、敷地の有効利用、周辺環境への影響に配慮し、建築物・駐車場・緑地等の施設を適切に配置する。
- 5) 地盤の条件、土地利用計画、施工条件、環境条件等を踏まえ、当該施設・隣接施設・隣接地についての問題点を総合的に検討し、その対策に配慮する。
- 6) 地域性・機能性及び経済性等の観点並びに今般の新型コロナウイルス感染症を踏まえ感染症対策機能など、総合的に勘案して設計する。

敷地案内図

(1) 周辺敷地

計画地周囲の地形は小高い丘に囲われた山間に位置しており、周辺を山、住宅地に囲われた立地となっている。計画地南側には一区画挟んで国道349号線が通っている。まちの中心である、JR磐越東線船引駅及び田村市役所からは平和通りを抜けた正面に立地しており、駅より車で10分の立地となっている。

- 北側：小高い丘になっており住宅、あぶくま更生園に隣接
- 東側：小高い丘になっており工場が隣接
- 南側：斜面地になっており、斜面下に住宅が立地
- 西側：一部斜面になっており、道路に面して住宅が立地



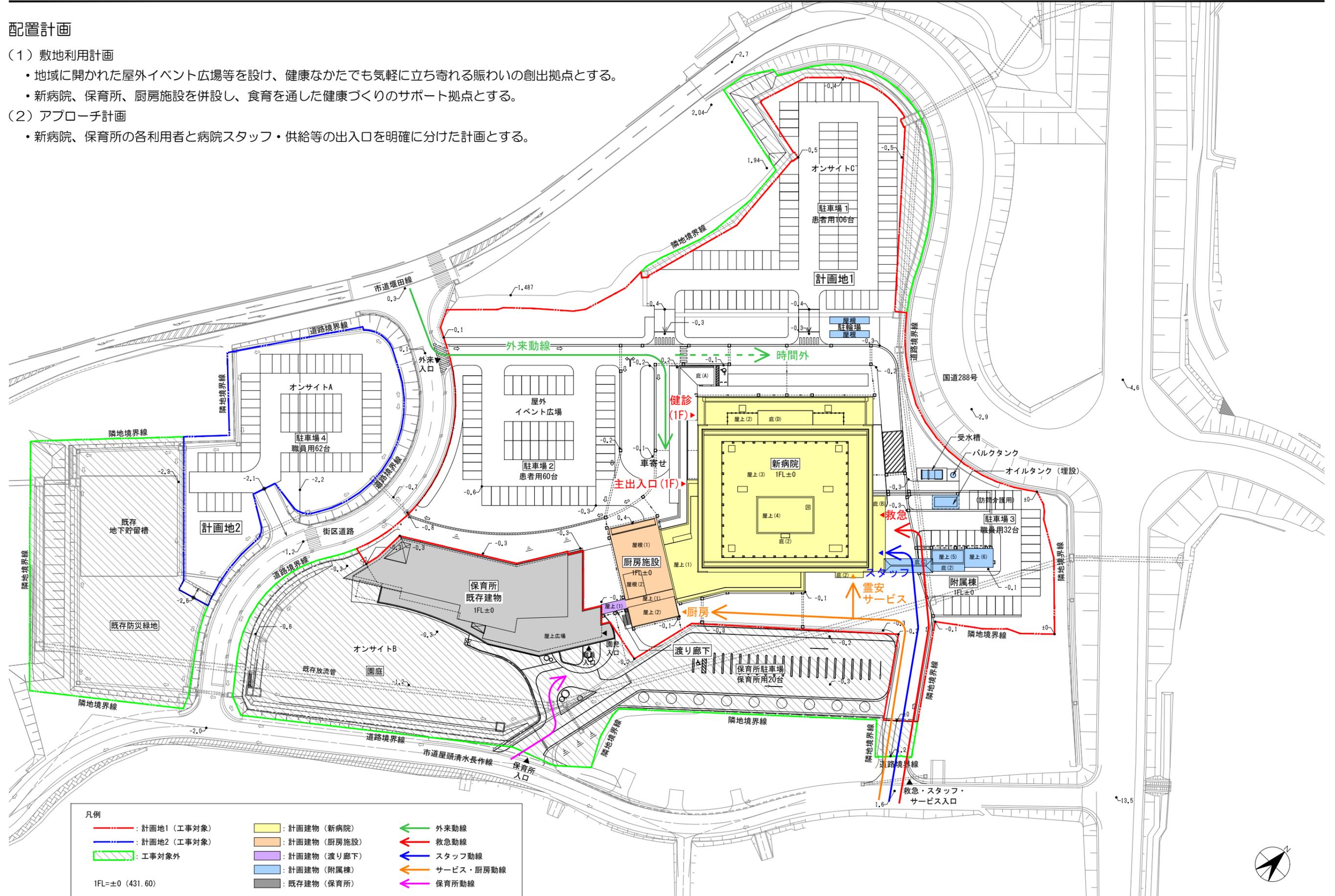
配置計画

(1) 敷地利用計画

- ・地域に開かれた屋外イベント広場等設け、健康なかたでも気軽に立ち寄れる賑わいの創出拠点とする。
- ・新病院、保育所、厨房施設を併設し、食育を通じた健康づくりのサポート拠点とする。

(2) アプローチ計画

- ・新病院、保育所の各利用者と病院スタッフ・供給等の出入口を明確に分けた計画とする。



| 凡例 | | | |
|-----------------------|-------------|------------------|-----------|
| — (Red dashed line) | 計画地1 (工事対象) | ← (Green arrow) | 外来動線 |
| — (Blue dashed line) | 計画地2 (工事対象) | ← (Red arrow) | 救急動線 |
| — (Green dashed line) | 工事対象外 | ← (Blue arrow) | スタッフ動線 |
| ■ (Yellow) | 計画建物 (新病院) | ← (Orange arrow) | サービス・厨房動線 |
| ■ (Orange) | 計画建物 (厨房施設) | ← (Purple arrow) | 保育所動線 |
| ■ (Purple) | 計画建物 (渡り廊下) | | |
| ■ (Blue) | 計画建物 (附属棟) | | |
| ■ (Grey) | 既存建物 (保育所) | | |

1FL=±0 (431.60)

平面計画

(1) 1階平面計画

- 新たな感染症に対応出来るよう感染者用出入口、専用EVを設けた計画とする。
- 厨房施設、レストラン、多目的ホールを

(レストラン・多目的ホール・待合ホールの大きな空間を災害時トリアージに活用する)

- 市民の生涯に寄り添う健康づくりの拠点として、食育と連携した「健診・検診」の機能を強化する計画とする。

1. 健康診断専用の出入口を設け、病院利用者と健診受診者を明確に分ける。
2. 婦人科検診の受診率向上を目指し、女性に配慮した女性専用エリアを設置。

- 地域連携室・訪問看護の事務室は、総合受付の後方スタッフエリアに配置する。
- 相談室は、落ち着いたスタッフエリア内に、地域連携・訪問看護部門に隣接して3室配置する。



(2) 2階平面計画

○管理部門

- ・医局、事務室、会議室等の管理部門を集約化。
- ・会議室は可動間仕切にて分けることを可能にし、利用目的に応じて会議室の大きさを変更できる計画とする。
- ・スタッフコモンズ、スタッフ用屋上空間を設け、アメニティに配慮した計画とする。

○手術部門

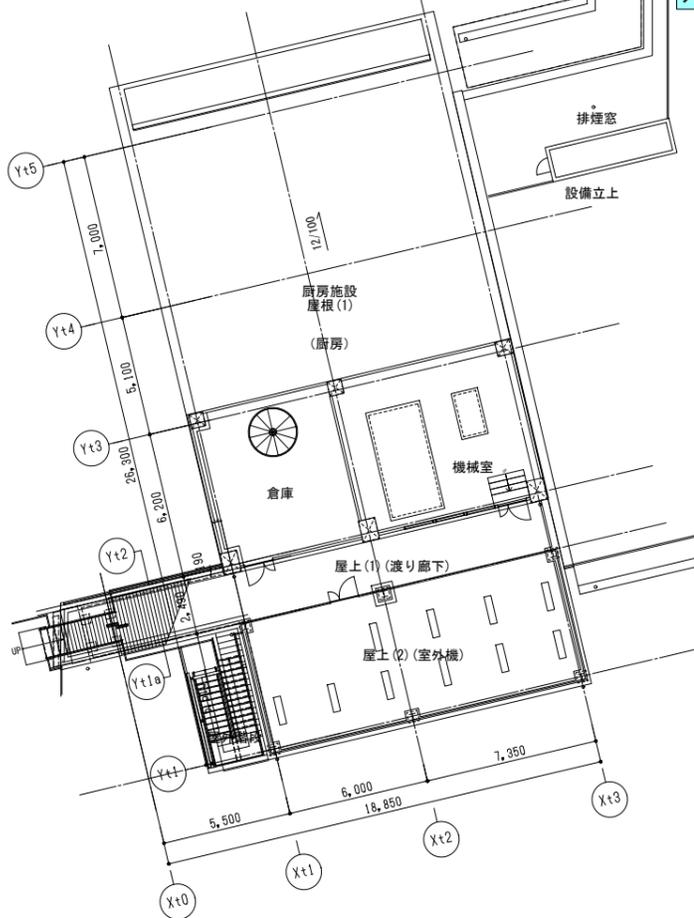
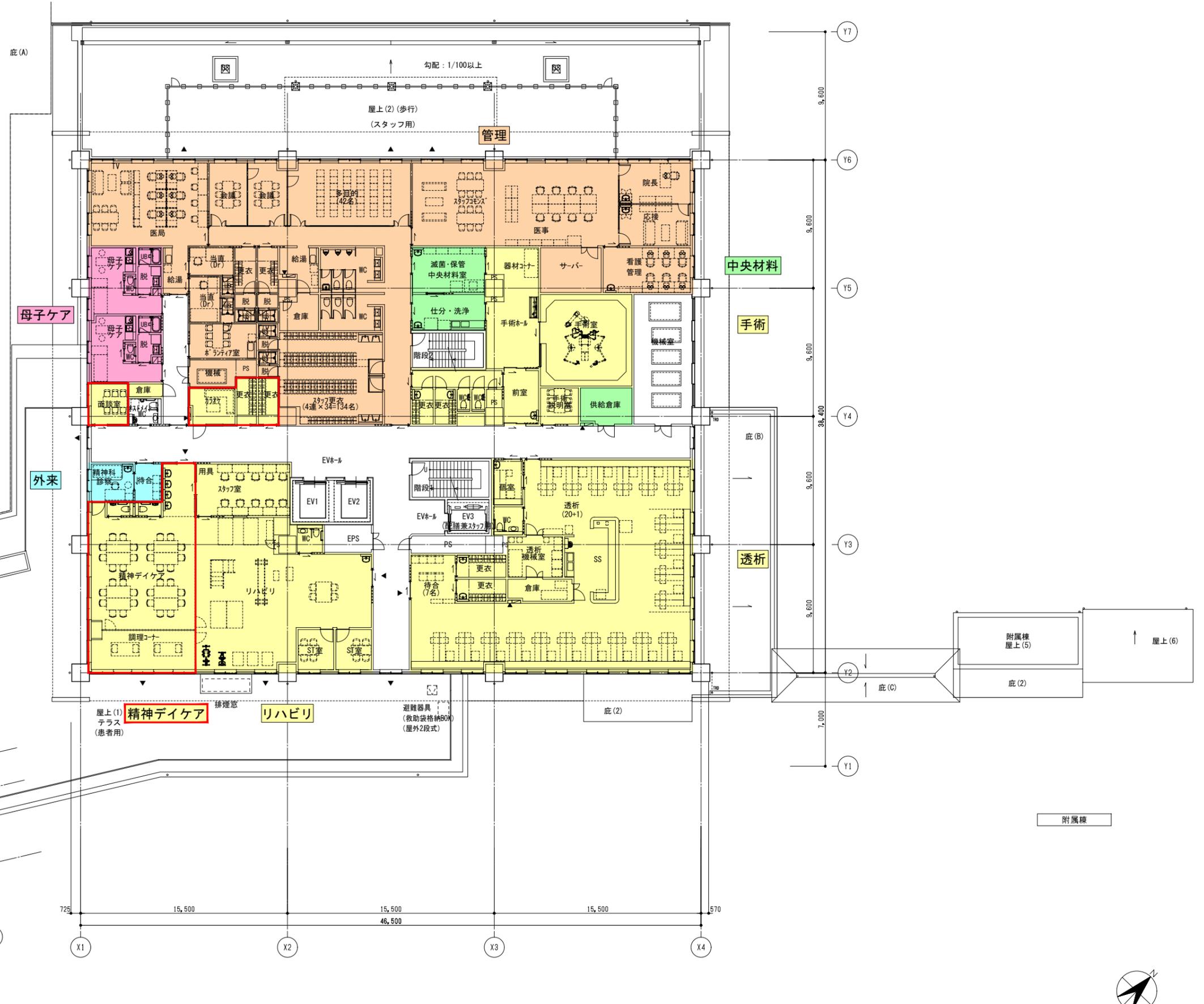
- ・EVホールに近接して配置し、患者さんの迅速な搬送体制を整備する。

○中央材料滅菌部門

- ・手術部門に隣接して配置し、機材の効率的な供給体制を整備する。

○リハビリテーション部門、精神デイ部門、透析部門

- ・外部に面し、明るく開放的な治療環境を整備する。
- ・リハビリテーションと精神デイを可動間仕切にて区切り、一体利用を可能とする。

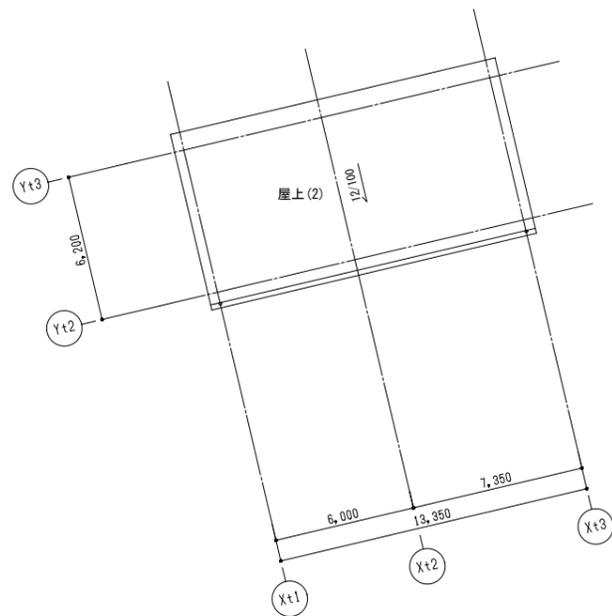


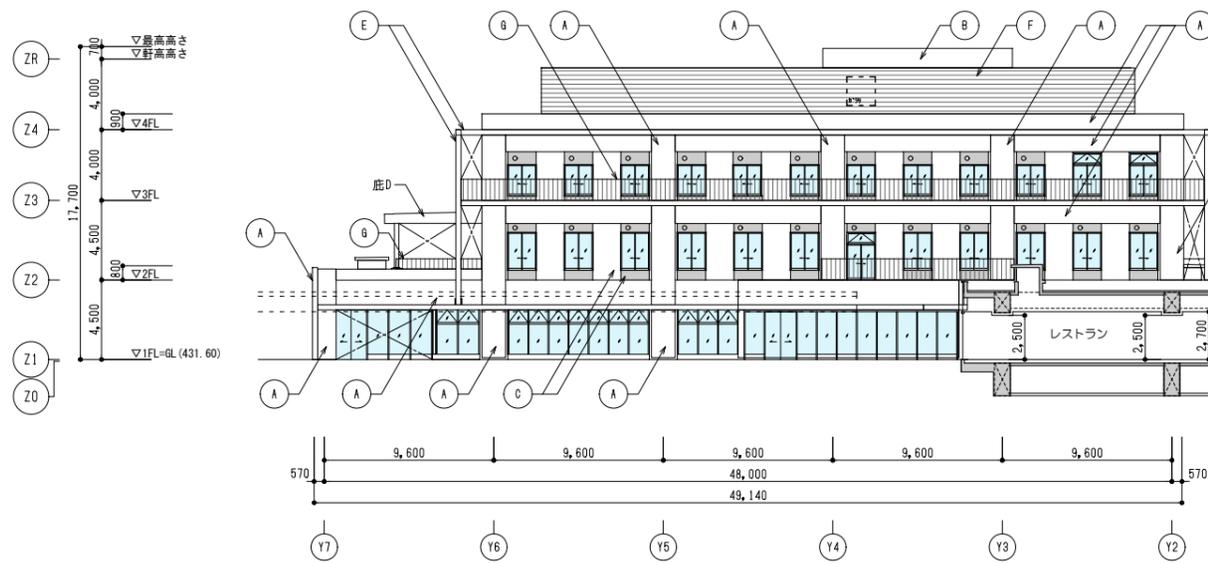
厨房施設

(3) 3階平面計画

○病棟部門

- 1フロア 病床 50床の計画とする。
- 病室ユニットを各16室とし、見守りのしやすい配置計画とする。
- スタッフステーションから観察しやすい位置に重症室を配置する。
- 感染症病床に転用可能な特別個室を6室設置し、感染対応時に病棟内で区画可能とする。
- 地域で安心して子育てができるように病室等を利用した支援を行う。
- 患者の療養環境やプライバシーに配慮した個室または2床室で構成する。





南西側立面図



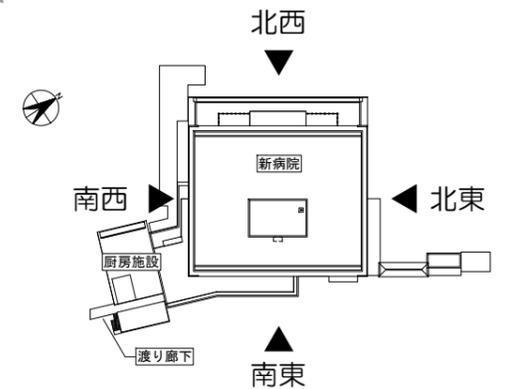
南東側立面図



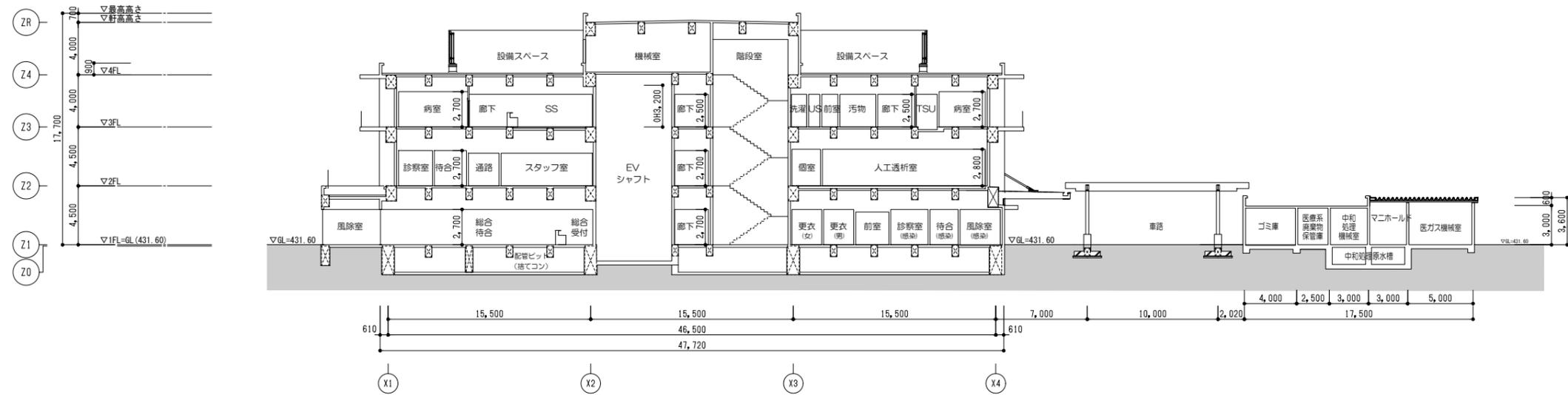
北東側立面図
国道バイパス側



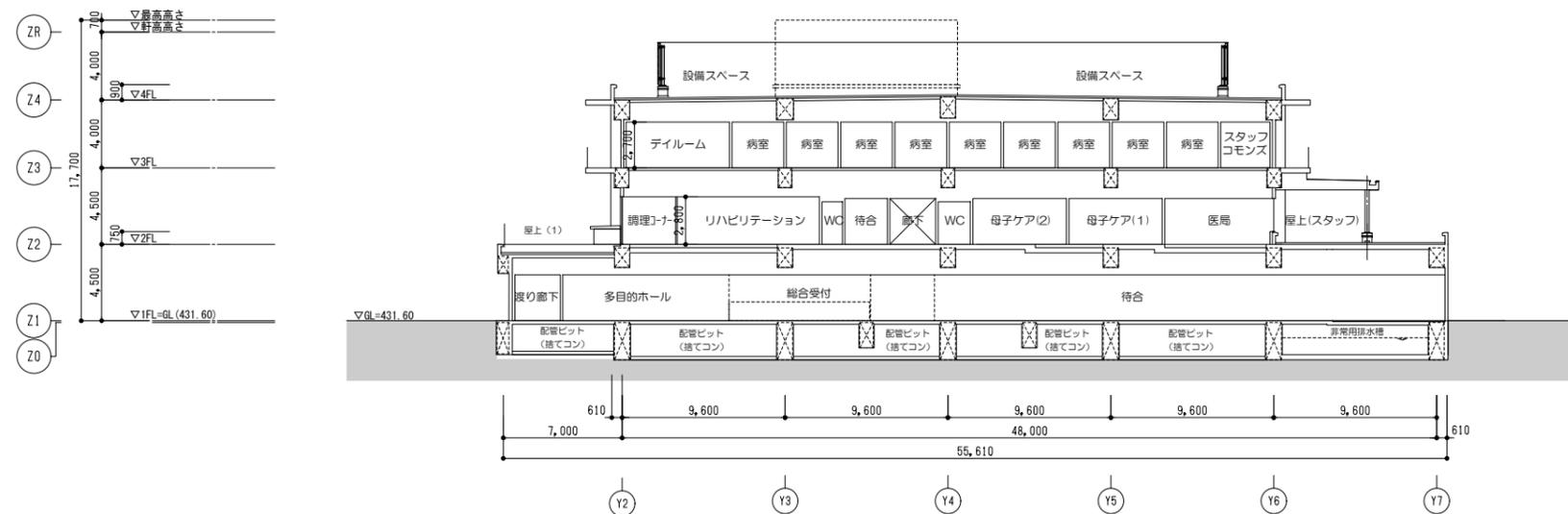
北西側立面図



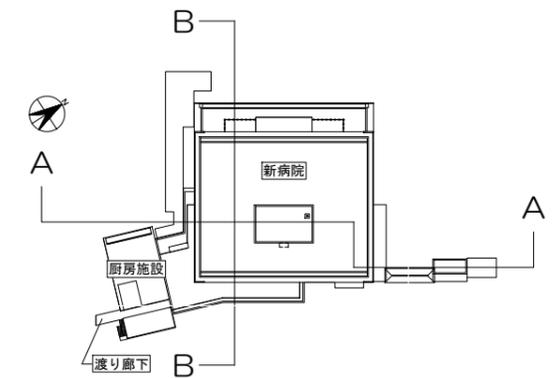
| 外部仕上凡例 | | | | |
|---------------------------|-------------------------------------|---------------|---|-----------------------|
| (A) タイルA 75×75×8 | (F) アルミ目隠しルーバー 二次電解着色 | (1) 縦樋 カラーVP管 | ▽ | 打継目地、伸縮目地、化粧目地、構造スリット |
| (B) コンクリート打放し補修+外装材A | (G) スチール縦格子手摺 粉体塗装 | (2) 庇 (RC) | ○ | ペントキャップ (設備工事) |
| (C) コンクリート打放し補修+外装材B | (H) アルミ笠木 t2.0 二次電解着色 | (3) | ▼ | 代替出入口 |
| (D) 鉄骨下地+市産木材 (不燃処理) | (I) 鉄骨下地+木調アルミスパンドレル (門型フレーム: 軒天、壁) | (4) | | |
| (E) アルミカットパネル t2.0 二次電解着色 | | (5) | | |

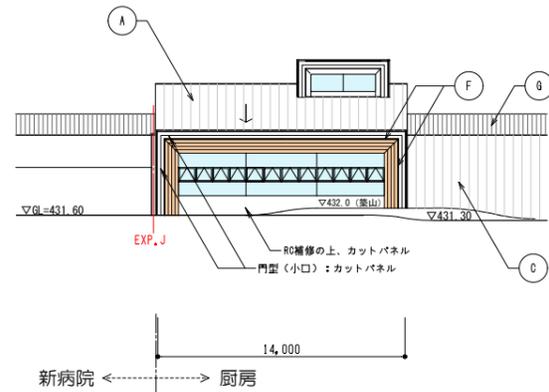


A - A 断面図

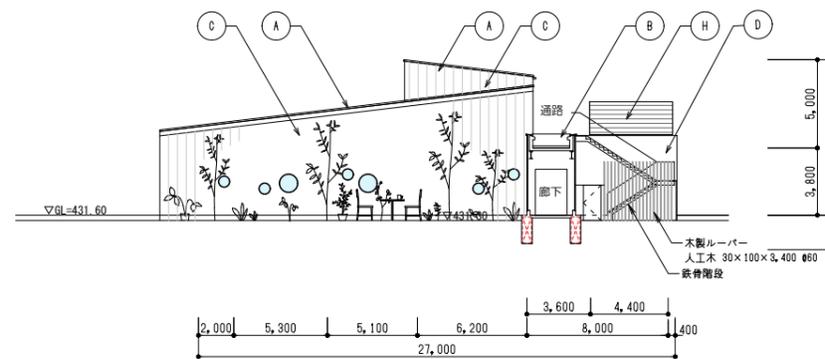


B - B 断面図

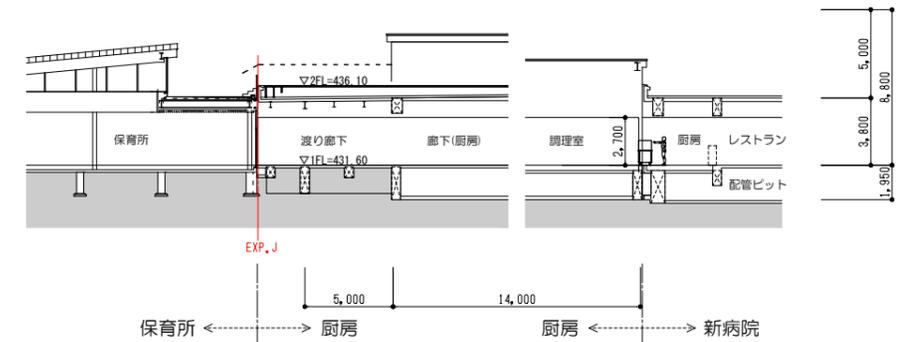




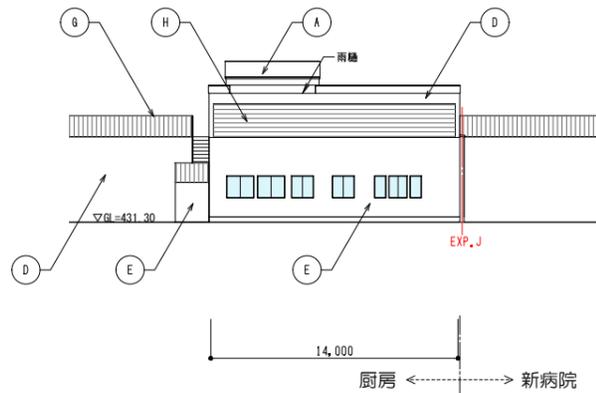
西側立面図



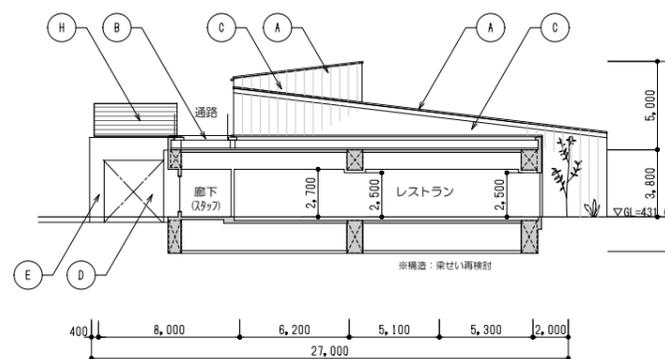
南側立面図



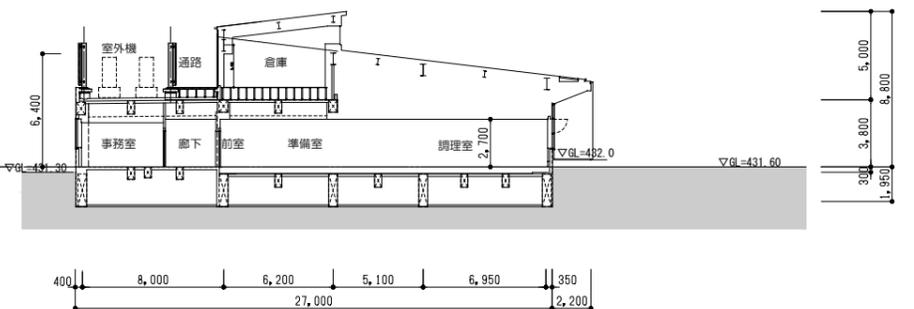
A-A断面図



東側立面図



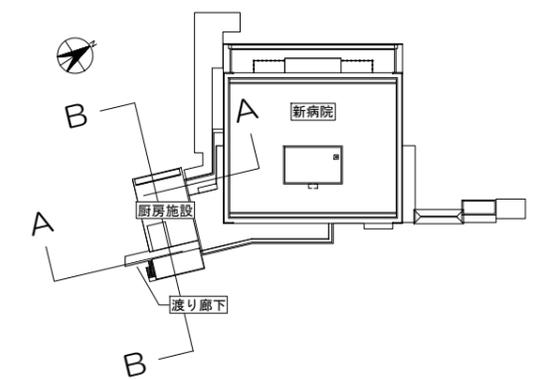
北側立面図



B-B断面図

外部仕上凡例

| | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| (A) 屋根(耐火認定): フッ素ガルバリウム鋼板 t0.5 立ハセ葺 | (B) ルーフデッキ H700+押えコンクリート H80 アスファルト防水 | (D) 押出成形セメント板 t60の上、弾性複層仕上塗装 | (1) 縦樋 VP管 |
| 防湿材: ゴムアスファルトルーフィング t1.0 | (C) 外壁(耐火仕様): フッ素ガルバリウム鋼板 t0.5 平滑葺 | (E) コンクリート打放し補修の上、吹付塗装 | (2) 小庇 (RC) |
| 断熱材: 押出発泡ポリスチレン板 t50 | 高圧木毛セメント板 (t15+t15^w797材) | (F) 鉄骨下地+木調アルミスバンドレル | |
| 下地材: 高圧木毛セメント板 t25 | 防湿材: 透湿防水シート | (G) スチール縦格子手摺 粉体塗装 | |
| | *イラスト表示: 塗装 | (H) 目隠しルーバー | *融雪装置、雪止め: スチールアングル 内樋: SUS |





【鳥瞰イメージ】



【外観A イメージ】



【外観B イメージ】



【病棟・スタッフステーション イメージ】



【総合受付・待合 イメージ】



【多目的ホール・レストラン イメージ】